

完成 景観版イメージアナリスト Windows対応

■景観版イメージアナリストは、日本カラーデザイン研究所のカラー&イメージシステムを背景に、独自に開発された、景観計画向けのイメージ診断ソフトです。

■活用していただきたい方

- ・その「色」に決めた根拠は何ですか？と言われて、悩んだ経験のある方へ
- ・まちづくりに関わる全ての分野の方
自治体、市民、コンサルタント、プランナー、デザイナー、景観材関連、建築・建設・土木・造園関連
観光・不動産・商工自営に携わる方々

■活用法1--- 言葉に表しにくい、デザインへの希望・意見の取りまとめをスピーディーに適確に行なえます

■活用法2--- 「色彩」検討のための裏付けデータとして活用できます

①まちづくりを考える際に、自分達のまちの現状や将来イメージの取りまとめ

②具体的に、通りや公園のデザイン方向性を、みんなで討議している際の、意見の取りまとめ

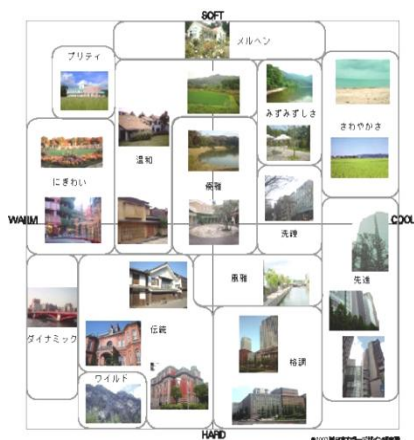
③集合住宅などの塗り替えの際の意見の取りまとめに

④提案事例のイメージのポイントの説明に

⑤コンセプトの理解のために、コンセプトイメージを解説

⑥デザイン案プレゼンを見て、評価の際に、みんなでイメージチェック

基本の景観イメージスケール



道でも色彩や素材で空間イメージが変化します



薄茶系では、のんびり、リラックス



グレーを選ぶとシックで、風流です



暗めの茶系を選ぶと、落ち着きを感じさせます

分析手順

Step 1

アンケート

Step 2

入力・集計

Step 3

イメージ診断

Step 4

デザイン提案

- 形容詞語句の選択
- 診断対象の確認

例えば

- ・地域全域
- ・エリア分類
- ・特定の地区

■現状及び将来像

- ・比較のデータ作成により考察が容易

- いくつかの視点で被験者グルーピング
- 例えば立場の違い

- ・担当者対応
- ・関係者内部
- ・住民
- ・利用者
- ・来訪者

■属性・生活スタイルの違い

- ・年齢
- ・女性・男性

■基本分類

- ・イメージスケールでのポジショニング

■タイプ分類

選ばれた言語の集計で、イメージ対応の結果が計算され、3つのタイプ判定が行なわれる

最も近い、2番目に近い、3番目に近いという3タイプ

■先行事例の紹介

タイプ分類それぞれにふさわしい事例のビジュアルが提示される

■【カスタマイズ部分】

- ・相応しいデザイン要素・パーツの紹介
- ・施工事例や製品のイメージ分類実施

簡単入力

期待するまちのイメージ像を考えて、言語を選択する方式です。

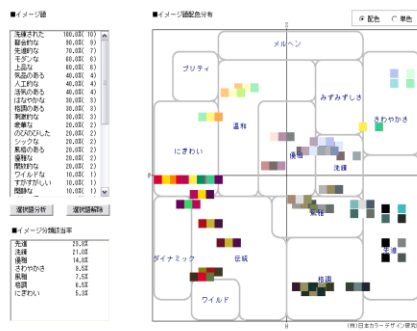
アンケート用紙に答えていただく方法と、画面入力と2つの方法がありますが、どちらも簡便です。

また、複数の人の意見も簡単に集計することができます。

入力画面



基本分析



皆が回答したイメージの結果をビジュアルで提示

集計結果から、どの様なイメージが相応しいのか、診断いたします。

診断結果として、そのイメージに相応しい要素をビジュアルで提示します。

基本カラー、サブカラー
素材感、形状のポイント
先行事例など

先進

■イメージポジション

■イメージプロフィール

■素材・パターン

- 無彩色の壁紙
- 打ちっ放しコンクリート
- 鏡
- ステンレス仕上げ
- 幾何的パターン

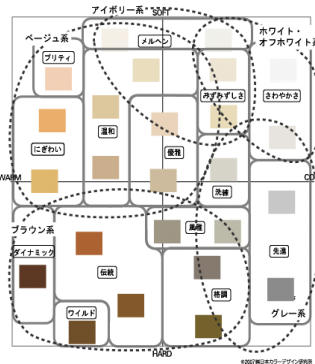
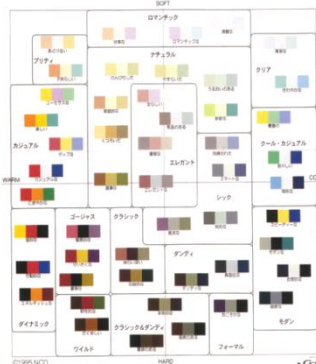
■イメージの特徴

- 先進的な技術力や都市のイメージ、ガラスや金属など
- 色の強い方
- 色の強い方
- 色の強い方
- 色の強い方

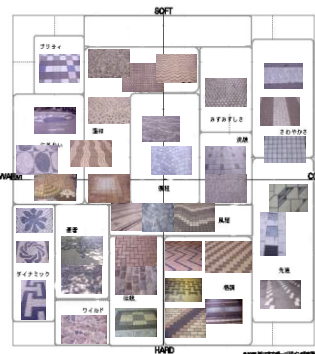
■色別

■景観と構成要素のイメージビジュアル

分析及びコーディネートのもととなるスケール例



■景観イメージ誌スケール



■景観イメージ誌スケール



3年間の使用料契約となります

- カスタマイズは別途承ります
 - 2010年度にご予約をいただいた場合は特価サービスとさせていただきます。
- 詳細につきましてはお問い合わせください

お問合せ先 株式会社 日本カラーデザイン研究所 NIPPON COLOR & DESIGN RESEARCH INSTITUTE INC.

景観事業部 担当 杉山

〒113-0033 東京都文京区本郷3-5-2 第2田中ビル
TEL.03-3818-0071(代)FAX.03-3818-0622

3-5-2, HONGO BUNKYO-KU, TOKYO, 113-0033 JAPAN
PHONE:03-3818-0071 FAX:03-3818-0622

<http://www.ncd-ri.co.jp>

2010年9月